

医師不足・偏在改善計画の進捗状況

～みんなで築こう！秋田の医療を～

1 医師不足・偏在改善計画（平成24年11月策定）について

- (1) 計画期間について
 - ・ 「医師数・患者数等医療需要調査」*1（平成23年5月）の結果を基に推計された必要医師数*2と供給医師数*3が合致すると見込まれる平成34～37年までを計画期間として決めました。
- (2) 計画最終年（平成37年）の目標医師数の設定について
 - ・ 「医師の充足状況調査」*4（平成23年10月）により、平成23年の目標医師数*5を設定しました。
 - ・ 必要医師数の経年変化率を平成23年の目標医師数から順次乗じて、平成37年の目標医師数を設定しました。
- (3) 年次計画医師数の設定について
 - ・ 平成23年の医師の現状値*6に、供給医師数の対前年増加数を順次加え、各年の年次計画医師数としました。なお、年次計画医師数は、二次医療圏・診療科ごとに設定しました。
 - ・ 供給医師数の対前年増加数は、各二次医療圏・診療科における医師不足率（現状値／目標医師数）に応じて按分した上で医師の現状値に加算しました。
 - ・ よって、年次計画医師数は、計画最終年に目標医師数を達成するための目安となり、また、今後増加した医師が、どの地域の、どの診療科で勤務すると課題解決につながるのかという指標の一つとなるものです。
- (4) 進捗状況の報告について
 - ・ 平成25年度においては、厚生労働省により隔年で実施される「医師・歯科医師・薬剤師調査」の結果（平成24年データ）が公表されたので、主にその内容を分析し、報告しました。
 - ・ 平成26年度においては、「医師の充足状況調査」（平成26年10月）の結果を基に、年次計画医師数の達成状況について、報告しました。
 - ・ 平成27年度は、「医師の充足状況調査」（平成27年10月）の結果を基に、年次計画医師数の達成状況について報告するとともに、「医師・歯科医師・薬剤師調査」の結果（平成26年データ）が公表されたので、その内容を分析して報告しました。
 - ・ 平成28年度においては、「医師の充足状況調査」（平成28年10月）の結果を基に、年次計画医師数の達成状況について、報告しました。
 - ・ 平成29年度は、「医師の充足状況調査」（平成29年10月）の結果を基に、年次計画医師数の達成状況について報告するとともに、「医師・歯科医師・薬剤師調査」の結果（平成28年データ）が公表されたので、その内容を分析して報告しました。

*1 「医師数・患者数等医療需要調査」・・・県内の患者の受療動向、医療圏域、疾病構造等の医療需要や、医師の労働時間、診療患者数等の実態を把握する目的で実施。

*2 必要医師数・・・*1の調査により算出した将来患者数、医師一人当たりの診療可能患者数を基に算定。*1の調査は、対象患者を各住所地に戻した上で、当該住所地を含む各二次医療圏で一定の医療が完結することを前提としているため、後述の「目標医師数」には採用していない。

*3 供給医師数・・・厚生労働省が実施している「医師・歯科医師・薬剤師調査」の平成20年調査結果を基準に、地域枠医学生の将来推計等を加味したもの。

*4 「医師の充足状況調査」・・・県内の病院を対象に、各病院の診療科ごとの医師の充足状況を把握するため、年2回（4月・10月）実施している県独自の調査。

*5 目標医師数・・・*4の調査における常勤医師、非常勤医師、更に必要とする医師の合計

*6 医師の現状値・・・*4の調査における常勤医師、非常勤医師の合計数。